

評価結果概要表

【評価実施概要】 作成日 平成21年10月10日

事業所番号	2772403164	評価機関名	特定非営利活動法人
法人名	有限会社 篠原		近畿マネジメント・サポート・センター
事業所名	グループホーム こみち	所在地	大阪市東住吉区山坂5丁目5番14-103号
所在地	枚方市招提元町2丁目22番1号	評価調査日	平成 21 年 10 月 6 日
	電話 072-855-4181	評価確定日	平成 21 年 10 月 13 日

【情報提供票より】 (平成21年9月25日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成17年12月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数	9人
職員数	9人常勤 9人	非常勤	9人 常勤換算 6, 6人

(2) 建物概要

建物の構造	単独 木造 1階建ての1階部分
-------	--------------------

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃 (1月)	60,000円	その他の経費	23,000円
敷金	無 ()		
保証金の有無 (入居一時金を含む)	有 250,000円		
食材料費	朝食	円	昼食
	夕食	円	おやつ
	または1日当たり 1,480円		

(4) 利用者の概要 (9月10日現在)

利用者人数	8名	男性	0名	女性	8名
要介護1	1名	要介護2	1名		
要介護3	6名	要介護4	0名		
要介護5	1名	要支援2	0名		
年齢 平均	88才	最低	75才	最高	96才

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人せのう内科 医療法人りんどう会向山病院 三木歯科
---------	---------------------------------

【外部評価で確認された、この事業所の特徴】

農村の雰囲気を残した静かな住宅地にある新築のホームです。介護は3年以上の職員6名が主力で行われており、利用者には、安心・安全・快適をモットーとして、毎日を送って頂いている。特に、管理者は介護向上のための職員研修を毎月行い、又、利用者の介護情報は、全職員によって把握されているので、利用者は、安心して快適な日々を送っている

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題と、その後の取り組み、改善状況 (関連項目: 外部4)
	職員の介護レベル向上のために定例の毎月の職員会議では、職員を講師として内部研修を1~2時間実施している。利用者一人ひとりの介護記録は、担当職員によって把握され、更に、計画作成時に全職員の共有情報としています
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)
	昨年度の評価終了後から、管理者は会合毎に各評価項目について、職員同士で話し合いを続けるように奨め、実施しているが、今回は、介護の主力となっている職員が中心になって、自己評価票を作成している、
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容、及び、それらを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)
	運営推進会議は2ヶ月毎に開催されており、ホーム側からの実績報告をした後、出席した委員から提案や、福祉に係る情報の提供等が行われている。管理者は会議での話し合いの結果を介護に活用しています
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)
	ご家族に運営推進会議にも出席して頂き、発言して頂いている。来訪されるご家族には、利用者の詳細な近況報告を基に会話し、ご希望も伺っている。いまのところ、ご家族アンケートからは安心してご利用して頂いて様子が伺え、ご不満は頂いていない
重点項目⑤	日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)
	管理者のご一家が歴史的な昔から、この地での生活者なので、ご近所との付き合いも古く、情報等も含めて、日常の交流は自然に行われている。プロによる音楽療法は、ホームの開設後間もなくから開始し、利用者の生活の改善に役立っています

（ 部分は重点項目です）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営					
1 理念と共有					
	1	○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中で、その人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	今年度は 安心・安全・快適 に暮らして頂けるグループホームの創造を掲げている		
	2	○ 理念の共有と、日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を共用室にも掲げ、利用者職員、ご家族と共に励んでいる		
2 地域との支えあい					
	5	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等の地域活動に参加し、地域の人々と交流することに努めている	運営者、管理者は地元の方なので地域の方々と溶け込んで交流が出来る		
3 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者、管理者、職員は毎年の評価を活かして、介護の改善維持に励んでいる		
	8	○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービスの向上に活かしている	運営推進会議は2ヶ月毎に開催されており、会議での議事や、情報交換等は、運営の向上に活かされている		
	9	○ 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域包括センターとの協力で交流の機会を深めている		
4 理念を実践するための体制					
	14	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び、個々にあわせた報告をしている	写真集を利用してご家族に近況を説明している。又、来訪時には詳細を報告し、話し合っている		
	15	○ 運営に関する家族等の意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日頃ご家族と話し合っご意見、希望等を伺い、運営に反映させて頂いている		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	9 18	○ 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動はあまりないが、万一利用者へのダメージがあるようなら、最小限になるように配慮している		

5 人材の育成と支援

	10 19	○ 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者は職員の研修を重視し、毎月、定例の職員の会議と、実例を基にした研修をしている。外部研修については、受講者が報告し、資料も配布されている。	○	開設4年目となり、職員の勤続も安定しつつあるので、日常の運営管理の職員との分担を進めて欲しい
	11 20	○ 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて質を向上させていく取り組みをしている	地域の同業との交流の会議が適宜開催され、情報の交換をして、改善に役立っている		

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1 相談から利用に至るまでの関係づくりと、その対応

	12 26	○ 馴染みながらのサービス利用 本人が安心して納得した上で、サービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	担当職員を中心として、利用者、一人ひとりの情報が集約され、日常の介護に活かされている		
--	-------	--	--	--	--

2 新たな関係づくりと、これまでの関係継続への支援

	13 27	○ 本人と共に過ごし、支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、一人毎に一緒に生活できることの喜びを伝えている。又、お互いに身の上を話したり、共感し合ったりしている		
--	-------	---	--	--	--

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1 一人ひとりの把握

	14 33	○ 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	話し易いように、一人ひとりの生活暦から感情を確かめたりしている		
--	-------	---	---------------------------------	--	--

2 本人がより良く暮らしを続けるための介護計画の作成と、見直し

	15 36	○ チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	職員が夫々、一人ひとりの希望や思いを汲みとって集約し、今後の課題について本人、ご家族、関係者と相談して作成している	○	3年間全職員で努力され改善されて来ましたが、馴染みのため、うっかりと、このレベルを下げることを無いよう全職員でチェックし合ってください
--	-------	--	---	---	---

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	カンファレンスを何回も行って、新計画を作成している		
3 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○ 事業所の多機能性を活かした支援 本人や、家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご家族、本人の要望に応じ、事業所として対応できる範囲内の支援を行っている		
4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○ かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られた、かかりつけ医と、事業所の関係を築きながら、適切な治療を受けられるように支援している	内科医師に月2回の往診を依頼している、職員は医師に伝えたい項目をノートに記入して提出している		
19	47	○ 重度化や週末期に向けた方針の共有 重度化した場合や、終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびに、かかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	時期をみて、ご家族、主治医と話し合い、方針を決めている。職員とは情報は共有している		
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1 その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○ プライバシー確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人の尊厳を損なうことのないよう配慮している、そして、記録類は別の場所に管理している		
21	52	○ 日々の、その人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員は本人の意欲を引き出すよう努力している、希望については出来る限り対応している		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○ 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材業者からのメニューと職員のものとの交互に利用、調理は職員が行っている。利用者の手伝いは、現状では困難となっている		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	23	57	<p>○ 入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		入浴を嫌がる方には色々と楽しめるような会話をしている、又、日時については柔軟に対応している

(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援

	24	59	<p>○ 役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		プロによる音楽療法を利用者に楽しんで頂いています。又、それぞれの好みを活かした楽しみで、過ごして頂けるよう支援している
	25	61	<p>○ 日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりの、その日の希望にそって戸外に出かけられるよう支援している</p>		一人ひとりの希望に応じて散歩を楽しんで頂いている

(4) 安心と安全を支える支援

	26	66	<p>○ 鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中、玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		原則的に鍵掛を行っていない
	27	71	<p>○ 災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		運営推進会議でも緊急時の対応の会話を行っている。消防署の立会いの避難訓練を年1回実施している

(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援

	28	77	<p>○ 栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>		食事、水分の摂取量のチェックは欠かさず実施している。又、体重管理で食事量の加減を図っている
--	----	----	---	--	---

2 その人らしい暮らしを支える生活習慣づくり

(1) 居心地のよい環境づくり

	29	81	<p>○ 居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		共用空間は天井が高く、室内も広々とした感じの空間となっており、大きなガラス戸を透しての坪庭は癒し効果があります。又、季節感のある利用者や職員の共同作品が掲示されていました
	30	83	<p>○ 居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		個室では銘々が適宜に、家財道具を入れて生活を楽しんでいる